

週報

2011.7～2012.6

国際ロータリー第2730地区 佐土原ロータリークラブ 第1179回 平成23年9月14日(水)

2011～2012年度
ロータリーテーマ



本日のプログラム

1. 点 鐘
2. ロータリーソング
「手に手つないで」
3. 四つのテスト
4. 会長の時間
5. 幹事報告
6. 出席報告
7. 委員会報告
8. 9月のセレモニー
9. 次週例会の案内「SAA」
10. 点 鐘

2730地区ガバナー 長峯 基
中部分区ガバナー補佐 林 務
RT会長テーマ

「こころの中を見つめよう 博愛を広げるために」

2730地区テーマ
「善いことをしよう」

佐土原テーマ
「クラブ会員の絆を より深めよう」

9月のテーマ
「新世代 月間」

9月7日(水)・・・「1178回」ガバナー公式訪問 夜間例会

9月14日(水)・・・「1179回」会員卓話③「福井輝文君」

理事会：9月のセレモニー

9月21日(水)・・・「1180回」会員卓話④「岩切正司君」

9月28日(水)・・・「1181回」会員卓話⑤「日高邦孝君」夜間例会

会長：荒武 義博
副会長：村上 實
幹事：永野 陽子
委員：藤堂 孝一
計：梶田與之助
事務局：吉野由里子
宮崎市佐土原町下田島
11703-18

TEL：0985-62-7833

FAX：0985-62-7877

例会日：毎週水曜日

例会場：石崎の杜「歓鯨館」

TEL：0985-62-7757

第1178回の記録 平成23年9月7日

会長の時間

< 荒武 義博 会長 >

「夜間例会」長峯ガバナー公式訪問

早いもので、会長をお引き受けしまして3ヶ月が経過しました。

本日は、夜間例会に長峯ガバナーをお迎えしまして、公式訪問を開催することが出来ました。会員の方々のご協力によりまして、この日を迎えられることに感謝いたします。

今年度のクラブ運営基本方針にも書かせていただきましたが、再度認識を持って頂く為に特に下記の内容の実践をお願いします。

次年度の当クラブ運営基本方針は、「クラブ会員の絆をより深めよう」他クラブとの絆も深め、地域社会との交流を深めることで社会貢献に努める。

【具体的実施事項】

1. 例会を家族的な雰囲気にする
まず、例会に出席することが苦にならず、楽しみの一つにしたい。そのためには、個々の会員が自ら自発的に自分の心を入替えることが大事と思います。

1) 夜間例会の定期開催

(家族同伴例会又は、友達同伴例会等)

2) 例会長期欠席会員の撲滅(気遣いと対応を早めに会長と増強委員長が中心に努める)

2. 決めたことは、必ず実践し継続する。
各委員会決定した方針は、必ず実践する。できることを方針として決定する。それを、継続していく。「継続できることを決める」

3. 独自「さすが、佐土原RC」のカラーを出す。

枠にとらわれず、良いことは取り入れる姿勢が大切です。よりいい方向に向かうように、より楽しいクラブとなるように全員が前向きに自らが会長だという認識をもってもらえれば、よりすばらしい佐土原ロータリークラブとなると確信しています。

「誰かが、一人で行えることではありません。一人一人が主役です。みんなの力を結集し、深い絆で実行・継続、できない訳を言う前に、できる方法を考えることを身につけましょう。」

このことから、公式訪問報告書に各役員・委員会が出した本年度の方針、活動計画を必ず実行して下さい。実行しない計画書は、意味がありません。もし計画書の変更修正があれば、委員会・関係会員の同意の下に、変えてもかまわないと思います。各委員会の方針は、将来変わらず継承されて、実践されるべきと考えます。



人の和

(1) 天・地・人

「天の時と地の利を得て戦えば、常に勝利する」(孫子) 天の時と地の利について、孟子はこう言っています。

「天の時は、地の利に如(し)かず。地の利は人の和に如(し)かず。」どんなにタイミングが良くても、良い環境には敵わない。どんなに良い環境でも、人心が一つになっていることには敵わない。最強なのは人の心である。

○リーダーは、ただ仁(思いやり)と義(世のためになる人としての道)のことばかり考えてはいけません

○そういう気持ちでいれば、自然と国は治まる

○必要とする人物も向こうから寄ってきて、心から喜んでリーダーに従う

○力など示さなくても、内部が強力な国となる

○上下の隔てなく、本音で意見を交わせような政治(RC活動)を行った

○結束が固い国(佐土原RC)になっていった

○すると他クラブ、地域社会から尊敬されるクラブになった。

○是非、入会したいと希望者が増えた。

(2) 和とは

それでは「人の和」とは？

日本人が大切にしている和の心。みんなが左に進むので、自分も左に行かなければならない。それが和であると思っれていることが多くありませんか？下手に異を唱えようと爪弾きされてしまう。それはイヤなので、大勢の決定に従っておく。ややもすれば馴れ合いであるとか、ナアナアといった集まりになりがちです。これでは内部が強くなることは望めません。

和とは「うまく調和のとれていること。つり合いのとれていること集団に合わせることで和ではないのです。

Plan(計画)→ Do(実行)→ Check(評価)→ Act(改善)の4段階を繰り返すことによって、任務(業務)を継続的に改善する手法。

1. Plan(計画)：従来の実績や将来の予測などをもとにして業務計画を作成する。

2. Do(実施・実行)：計画に沿って業務を行う。

3. Check(点検・評価)：業務の実施が計画に沿っているかどうかを確認する。

4. Act(処置・改善)：実施が計画に沿っていない部分を調べて処置をする。



山脇名誉会員

幹事報告

＜幹事 永野 陽子 君＞

※2012-2013 年度ガバナー候補
取り下げとそれに伴う新候補
の推薦依頼について

※「ガバナー月信」情報提供の
お願い文書

※女性会員についての調査書
(7月末現在) 8月末に加藤
会員が退会されましたので当クラブは私と大久保君の
2名で報告済です。

※9月18日(日)開催の「地区社会奉仕委員長セミナー」
岩切君が欠席となりましたので代理参加の検討をお願い
致します。



委員会報告

クラブ広報委員長 藤堂 孝一君

「源流の会」より冊子が販売
となります。
1冊500円です。必要な方は各
自購入をお勧めいたします。



ガバナーアドレス

国際ロータリー第2730地区
2011-2012年度 ガバナー 長峯 基

今年度RI会長カルヤン・パネ
ルジー氏「何かを成し遂げよう
と思うなら、ありとあらゆる知
恵を振り絞らなければなりません。

それには、まず自分自身の内
側から始めるしかないのです」
と、更に「自らを発見し、潜在
的な力を引き出し、迷わず、ひるむことなく、『出でて
奉仕し』世界で博愛を広げてください」と強く表明して
います。

自分自身の中にこそ変化を起こすことの必要性を認識
し、「私たちには得意とする事が数多くある」と重ねて
話しています。RIテーマに沿いロータリアンの決意と内
なる力を引き出していく事により夫々のクラブの活性化
につながり時代の要請に沿った2730地区全体の様と
なる事を目標としていきたいと考えています。

論語に

子曰、学而不思則罔、思而不學則殆

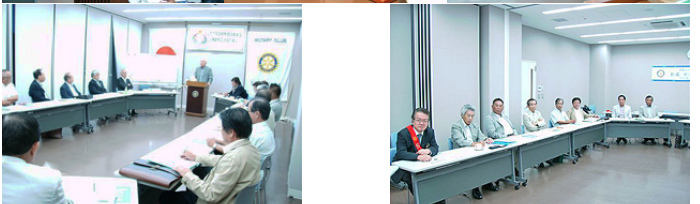
子曰く、学びて思わざれば則ち罔(くら)く、思うて
学ばざれば則ち殆(あやうし)「学ぶだけ」・「思うだ
け」では、さっぱり身に付かないし・思考力が鍛えられ
ないといけない。学びて思い、思いて学ぶ事 大局観を
持つ事が大切とあります。

RI会長のテーマを基に種々の思いの実現に一步でも近
づくには、先ず、ロータリアン一人ひとりの意識の改革
に努めて社会を変えて行く。RI会長は、先ずは良き家族、
良き隣人、良き地域社会とつなげて、これを継続をして
いく事を提唱しています。

私たちは自らの生業を通してよく自分自身の発見を図
り、それぞれが少しずつでも社会奉仕に関心を持ち、寄
与し続けて行く事が出来ればクラブが活性化して、やが
ては大きな社会奉仕に成り行くものと思います。更に将
来のロータリーの担い手となる若き人たちの会員拡大と
その育成、並びに女性会員拡大を計り、視野の違いや秘
められている新しい考え方を共に学びながら、これか
らの社会の変化に役立ていける構造改革につなげてい
けたらと思います。そして、鳥インフルエンザ、口蹄疫、
新燃岳、東日本大震災これら災禍に会われた方々の長期
に渡る復興に対して、私たちの出来得る事は無いのか、
これも皆さんと共に考えて行動を起こしたいと考えています。



クラブフォーラム



SAAより次週の例会案内

○SAA 柳田 光寛君

次週14日の例会は 会員卓話「福井 輝文君」9月の
セレモニーも予定しております。福井君ダブルで担当で
すが・・・よろしくお願ひします。

出席報告

＜出席委員長 吉田 康一郎 君＞

会員24名 (免除1名)	出席者数	16名
欠席者数	出席率	66.6%
有届け者～ 佐藤君・宮原君	無断欠席数(前回)	0名
日高君・松田君・松浦君	メイクアップ	0名
山本君・中武君・ 大久保君	修正出席率	70.8%

四つのテスト

「言行はこれに照らしてから」

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

◆◆◆◆ 事務局便り ◆◆◆◆

☆9月21日(水)メニューは【チキン南蛮定食】です。
☆9月9日(金)「長峯ガバナー慰労会」参加の4名の皆様ご
苦勞様で御座います。「荒武会長・永野幹事・村上会長
エレクト・岩切 地区フェロウシップ副委員長」
☆佐藤 高元会員の全快復帰が1日でも早まりますことを
心よりお待ちしております。
☆会員卓話・委員会報告等「原稿提供」のご協力をど
うぞお願い致します。

MEMO

例会中は携帯電話の電源を切るか
マナーモードにして下さい・・・

.....

.....

.....

.....

.....